

教育目標 【笑顔 夢 感動】

むくの木



掛川市立横須賀小学校 平成27年12月22日 第8号

きたえ合い、高め合う仲間とともに成長する子どもたち

校長 松村 敏典

まだ暑かった夏休み明けの8月27日から無事に78日間の授業日を終了し、明日から冬休みを迎えます。この間、学校では「きたえるステージ、高め合うステージ」の指導の中で『本気で授業、進んであいさつ』を目標に、子どもたちに挑戦することや努力することを粘り強く続けていこう、みんなで高め合っていこうと指導し、励まし続けてきました。

きたえるステージでは108人だった校内あいさつ名人が高め合うステージでは258人に増えました。陸上、習字、絵画、作文・感想文、理科学研究、工作、標語…等々、素晴らしい賞をいただいた子もたくさんいました。修学旅行や観音山、キラリ！ふれあいコンサートをはじめ、それぞれの学年で思い出に残る行事や活動も多く計画されました。中学に進学する6年生、最上級生として引き継ぐ5年生、高学年の仲間入りをする4年生、それぞれに確かな成長を感じます。全校で取り組んだ持久走記録会には、ご家庭での温かい励ましやボランティアの皆様の協力いただきました。閉会式が終わるまで運動場に多くの参観者が残り、力を出し切った子どもたちを讃えてくださったことを大変ありがとうございます。また、今年から学年部ごとの開催となった、むくの木発表会にも多くの方に足を運んでいただきました。練習成果を出し切れず、つたない発表もあったかもしれませんが、温かく見守っていただきありがとうございました。むくの木を中心とした季節の変化とともに子どもたちの成長を日々感じる事ができ、本当に充実した毎日でした。

学校は楽しいですか 98%

*11月末子どもアンケート調査結果から

12月の学校評価結果については1月号にてお伝えします。

高い数値結果に満足することなく、楽しいと答えられなかった数名の子の存在を受け止め、職員全員で見守り・支援を続けていきます。ご家庭や地域で気になることがございましたらいつでもご連絡ください。

「…私は最近、いじめられている子が気楽にいじめのことを手紙で伝えられる団体のことを知った。それは、子どもの人権SOSミニレターというものだ。私も、続けていやがらせを受けた時に手紙を出したことがある。返事はとても温かい言葉でつづられていて、とてもうれしかった。辛いことを相談して、心がとても楽になった。…」

(※社会を明るくする作文から一部抜粋)

いやなことや辛いことがあっても誰かが支えてくれる。相談に乗ってくれる。そんな安全・安心な横小、楽しい学校を目指して努力していきます。皆様のご理解とご支援をお願いします。明日から14日間の冬休みになります。交通事故0の記録が、今日で340日を超えます。引き続き全員で交通安全に努力したいと思います。

最後になりましたが、2016年・平成28年が皆様のさらなる飛躍の年であることをお祈りします。



昔の遊び！おじいさん・おばあさんと仲良し集会（2年）シニアクラブの皆さんありがとうございました。